

「新聞からネタ拾える」

大垣西濃信金 春風亭小朝さん講演



巧みな話術で聴衆を楽しませた春風亭小朝さん
大垣市万石、大垣フォーラムホテル

落語家の春風亭小朝さんが大垣市万石の大垣フォーラムホテルで講演し、落語やテレビなどの活躍の裏舞台をユーモアたっぷりに披露して会場を盛り上げた。大垣西濃信用金庫が100周年記念の文化講演会として入場無料で開催。小朝さんは「笑門来福」と題して講演し、市民ら約650人が聞き入った。

小朝さんは「最近の若い人は新聞を読まない」と聞くが、私は毎朝新聞を読んでいる。新聞を読むと、けっこう話のネタが拾える」と明かし、最近の面白かったニュースや気になる話題を紹介。異なる意味で広まった習慣や言葉が多いとし、心が温まる意味合いで使われる「ほっこりする」も「元は京言葉で、くたびれたと

いう意味。どんどん言葉が消えていくのは寂しい」と語った。

落語家や俳優としての活躍にも触れ、大河ドラマでは「どうしても小朝師匠に演じてほしい」とオファーを受けた役が、(台本に)『太った醜い男』と書かれていた」などと明かし、会場の笑いを誘った。

(宮本寛)